

## 南勢地区最大の茶産地 茶工場の稼働が始まりました

J A 松阪（代表理事理事長：山本清巳）は、5月1日から直営茶工場である粥見茶工場の稼働を始めました。全国3位の茶処である三重県の中でも、当J A管内は南勢地区最大の茶産地とされています。当J A管内の飯南・飯高地区は全国でも有数の深蒸煎茶の生産地で、関西茶品評会など様々な品評会で優秀な成績を収めています。今年の茶は4月下旬の寒さで生育が遅れていますが、品質は上々です。連休後半から出荷がピークを迎える予定です。また、加波茶工場は5月15日から17日まで稼働する予定です。

### 茶工場稼働時間

5月1日～5月10日まで稼働予定

場所：J A 松阪粥見茶工場

（住所：松阪市飯南町向粥見135-1）

稼働時間：午前9時～午後6時

※天候や収穫状況により、出荷量は日によって異なります。

※稼働終了日は状況により前後します。

### ○J A 松阪茶の生産情報

生産者数：108人（茶生葉生産部会）

生産面積：約100ha（茶生葉生産部会）

昨年度一番茶出荷量：13トン（今年度も同等の出荷量を目指します）

※J A 松阪粥見茶工場の出荷量です。

出荷先：県内市場

主に深蒸煎茶として加工しています。



←茶の受け入れの様子

### 【深蒸煎茶】

日本で一般的に飲まれている「煎茶」より、蒸す工程を長く（深く）して作られます。深蒸しすることで成分が浸出しやすく、水色が濃い緑色になるのが特徴。ほどよい渋みと苦みで、甘みのあるまろやかなお茶です。

### 【取材時のお願い】

当J Aでは新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めています。大変恐れ入りますが、記者の皆さまには取材当日、以下について厳守いただきますようお願いいたします。

- ・体調がすぐれない場合には取材はご遠慮ください。
- ・アルコール消毒、マスクの着用にご協力ください。
- ・取材はなるべく屋外かつ短時間で行っていただきますようお願いいたします。
- ・個人の方へ取材される際には一定の距離を保ってください。

ご理解とご協力の程、よろしくお願いいたします。

### 【お問い合わせ】※写真提供も致しますのでご相談ください。

J A 松阪 企画部 企画広報課（広報担当：池田、森本）

TEL：0598-28-8822（事務所）、080-4177-6832（業務用携帯） FAX：0598-28-2122

H P：<http://www.ja-matsusaka.or.jp/> E-mail：kouhou@ja-matsusaka.or.jp